

「平成30年度 香大っこサポーター養成講座」説明会（報告書）

- ・日 時：平成30年6月6日（水）13：30～15：00
- ・場 所：北5号館2階 522講義室 ・受講者：8名

6月6日（水）幸町キャンパスで「平成30年度 香大っこサポーター養成講座」の説明会を実施し、8名の学生が受講しました。

まず、コーディネーターの村上特命講師から、ジェンダー・ギャップの国際比較、民俗学の知見をもとにしたジェンダーイメージの変化の歴史、男女共同参画とダイバーシティ実現の意義などについて話がありました。香大っこサポーターの説明については、主な活動紹介と、活動時の注意事項として個人情報・秘密の保持および傷害保険について、また、託児時の休憩（お昼寝等）の重要性について説明がありました。子どもとずっと遊ぶことばかりが託児ではなく、子どもの様子を十分に観察しながら、適度に休憩を入れ休ませることも託児の重要事項の一つであるとの話があり、受講生も真剣に耳を傾けていました。

次に、教育学部特別支援教育講座の西田智子教授から、子どもの発育と病気についてお話がありました。

子どもの成長・発達によって、その時々事故・危険要因や病気があり、それぞれの対処法や病気の症状について分かりやすくお話いただきました。子どもに多い感染症については、実際に感染している子どもの写真を用いて説明があり、季節ごとにどういった感染症が多いか、また、食中毒とその予防策については、どういった場所・状況での感染が多いか例を挙げながらお話いただき、受講生も一生懸命にメモを取っていました。

最後に、妊婦体験ジャケットを用いて妊婦さんの身体にかかる負担の大きさを体験し、新生児の人形を抱っこして重さや首が据わっていない危うさ確かめたり、「実際の赤ちゃんならどんな感じかな？」「もし自分が妊娠したらどれだけ大変なんだろう？」と、とても興味深い様子でした。

